

高温・少雨に伴う農作物等の管理対策について

令和7年7月28日
富山県農業技術課

7月28日に新潟地方気象台より高温に関する早期天候情報（北陸地方）が発表されました。北陸地方では、最近1週間以上、気温のかなり高い状態が続いており、向こう2週間の気温も、暖かい空気に覆われやすいため、かなり高い見込みです。更に6月下旬以降降水量が少ない状況が続いています。

このため、農作物や家畜について以下の管理対策を徹底してください。

1 共通管理

- (1) 用水が下流域まで行き渡るように、地域での計画的かつ効率的な水利用に努める。

2 水稻

- (1) 肥効調節型基肥栽培において葉色が淡い場合は、品種毎の目安に準じて、積極的に追加穂肥を出穂期3日前までに施用し、適正な葉色に確実に誘導する。
- (2) 干し過ぎの管理にならないように、幼穂形成期から出穂期までの飽水管理を徹底する。
- (3) 出穂後は20日間の湛水管理を徹底する。
- (4) 高温により出穂期が早くなる場合があるため、斑点米カメムシ類の防除適期を逃がさないように注意する。

3 大豆

- (1) 落花・落莢を防ぐため、開花期頃から降雨に頼らず積極的にうね間かん水を行う。
- (2) ハダニ類の発生が多くなっているため、葉の黄化が拡大している場合は、速やかに防除を行う。

4 はとむぎ

- (1) 干ばつに弱いため、葉が巻き始める前に速やかにうね間かん水を行う。

5 園芸作物

【野菜】

- (1) 白ねぎでは、軟腐病の発生を防ぐため、土寄せと追肥は行わない。ただし、8月下旬～9月上中旬に収穫するため土寄せが必要な場合は、朝夕の涼しい時間帯に行う。
- (2) さといも、青ねぎ等の露地栽培では、土壌が乾燥しないよう、定期的に朝夕の涼しい時間帯にうね間かん水を行い、マルチ内の土壌水分が確保されたか確認し、速やかに落水する。
- (3) にんじんでは、は種計画の変更を検討する。は種後はスプリンクラ等で十分かん水を行う。
- (4) えだまめでは、開花期以降に着莢・莢肥大を促すため、朝夕の涼しい時間帯にうね間かん水を行う。
- (5) キャベツ等の定植は、定植直前に苗に十分にかん水を行うとともに、定植後は活着するまでかん水を行う。
- (6) 施設栽培では、施設内の温度上昇を抑制するため、妻面・側面・天窓の開放や換気扇等を活用した換気、遮光資材の展張、細霧冷房等の対策を徹底する。また、土耕栽培では、乾燥しすぎないように適宜かん水する。
- (7) ヨトウムシ類やアザミウマ類、ハダニ類の発生に注意し、発生がみられた場合は速やかに防除を行う。
- (8) 収穫は早朝等の涼しい時間帯に行い、収穫後は直射日光が当たらない作業場で、速やかに調製する。また、高温下では鮮度劣化が早まるため、予冷库等を活用し品温を下げることも

に、1日で調製できる分だけを収穫する。

【果樹】

- (1) 露地栽培では、無降雨日が5日程度続いた場合、速やかにかん水を行い果実の肥大を促す。ただし、収穫が近づいている品目では、かん水を控える。
- (2) 根域制限栽培では、朝夕の涼しい時間帯に加え、土壌の乾きに応じて日中もかん水する。
- (3) 土壌の水分蒸散防止のため、草刈りをする場合は10cm程度の高刈りを励行するとともに、苗木、幼木では敷わらやマルチ等を設置する。
- (4) 太枝には直上の新梢を多めに残す、又は白塗剤を塗布するなど、樹体の日焼け防止に努める。
- (5) ハダニ類やカメムシ類の発生がみられた場合は、速やかに防除を行う。
- (6) もも等は、品温が高くならないように涼しい時間帯に収穫し、収穫物は直射日光に当てない。

【花き】

- (1) 球根類では、貯蔵庫内が高温となり過ぎないように風通しをよくするとともに、腐敗球根等の除去を徹底する。
- (2) 旧盆用の小ギクでは、開花遅延を防ぐため、夕方に頭上かん水を行う。また、収穫後の葉のしおれを防ぐため、切り花の収穫は朝夕の涼しい時間帯に行い、前処理剤を用いて十分に水揚げし鮮度保持に努める。
- (3) 9月咲き以降のキク類等では、草丈確保のため、積極的にかん水を行う。
- (4) 施設栽培では、昇温抑制対策として、遮光や換気を徹底する。
- (5) ヨトウムシ類やアザミウマ類、ハダニ類の発生に注意し、発生がみられた場合は速やかに防除を行う。

6 家畜

- (1) 飼養密度の緩和、送風機による畜体等への送風、細霧装置による気化冷却などにより、家畜の体感温度の低下に努める。
- (2) 換気扇による換気、寒冷紗やよしずによる日除け、屋根への散水や消石灰の塗布などにより、畜舎環境の改善に努める。
- (3) 給水器を清潔に保ち、新鮮な水（冷水）を十分に給与する。
- (4) 高温により飼料が変質・腐敗していないか確認し、良質な飼料の給与や涼しい時間帯の給餌、ビタミンやミネラルの補給に努める。
- (5) 家畜をよく観察し、異常畜の早期発見・早期治療に努める。

※ 日中の暑い時間帯は外での農作業を控える。ただし、日中に農作業を行う際は、熱を逃がしやすい衣服を着用するとともに、作業はできるだけ複数で行い、こまめに水分補給するなど、熱中症等に十分に留意する。また、従業員を1人でも雇用している事業者は、熱中症の重篤化を防止するための対策として、早期発見の体制整備や実施手順書の作成などを行う。

【事務担当】

農業技術課	研究普及・スマート農業振興係	076 (444) 3277
	広域普及指導センター	076 (429) 5042

早期天候情報

地方

[説明△](#)

北陸地方

高温に関する早期天候情報（北陸地方）

令和7年7月28日14時30分

新潟地方気象台 発表

北陸地方 8月3日頃から かなりの高温

かなりの高温の基準：5日間平均気温平年差 +2.2℃以上

北陸地方では、最近1週間以上、気温のかなり高い状態が続いています。向こう2週間の気温も、暖かい空気に覆われやすいため、かなり高い見込みです。

気温が1年を通して最も高い時期ですので、熱中症の危険性が高い状態が続きます。引き続き、屋外での活動等では飲料水や日陰を十分に確保するなど熱中症対策を行い、健康管理に注意してください。また、農作物や家畜の管理等に注意してください。

なお、1週間以内に高温が予測される場合には高温に関する気象情報を、翌日または当日に熱中症の危険性が極めて高い気象状況になることが予測される場合には熱中症警戒アラートを発表しますので、こちらにも留意してください。

最新の気温の見通しは2週間気温予報（毎日更新）をご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/twoweek/>

早期天候情報は、原則として毎週月曜日と木曜日に、情報発表日の6日後から14日後までを対象として、5日間平均気温が「かなり高い」もしくは「かなり低い」となる確率が30%以上、または5日間降雪量が「かなり多い」となる確率が30%以上と見込まれる場合に発表されます（降雪量については11月～3月のみ）。このページの情報の更新は、発表日の14時45分までに行いますので、情報発表の有無の確認は、14時45分頃以降にお願いいたします。

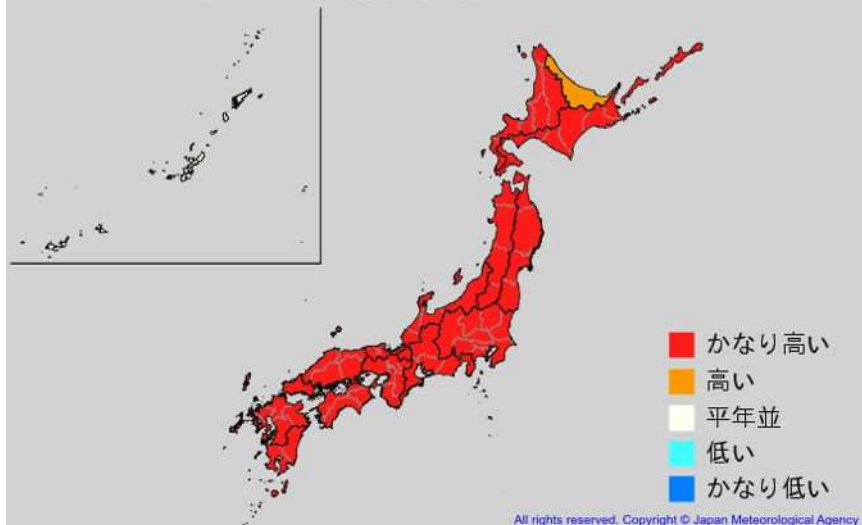
▶ [早期天候情報等の説明](#)

2週間気温予報

府県

[全国（一覧表示）](#)

令和7年7月28日 14時30分発表
8月5日～8月9日の5日間平均気温



地図をクリックすると各府県の情報をご覧いただけます。

説明

- ・ 8日先から12日先まで5日間平均した日平均気温を表示しています。
- ・ かなり高い（かなり低い）は、かなり高い（かなり低い）気温となる確率が30%以上のときに表示します。
- ・ 予報は毎日14時30分に発表します。その後順次ページの内容を更新するため、内容の確認は14時45分以降にお願いいたします。

リンク

- ・ [2週間気温予報等の説明](#)

※ 2週間気温予報に関連する週間天気予報と季節予報等についてはこちらをご覧ください。

- ・ [全国の天気予報（7日先まで）](#)
- ・ [最新の季節予報](#)
- ・ [季節予報って何？（予報の種類と内容、発表日など）](#)
- ・ [地球環境・気候のページ](#)
- ・ [確率予測資料（データ）](#)
- ・ [日本の天候の特徴と見通し（季節予報、天候のまとめ）](#)